

滋賀県スポーツ指導者セミナー [第9～12回]

(令和5年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業)

県民の健康・体力およびスポーツ競技力の向上に必要不可欠な、指導者の知識向上を目的にスポーツ、トレーニング理論等の講習を行い、安全なスポーツ活動の普及振興に役立てることを目的として実施します。

主催 公益財団法人滋賀県スポーツ協会
 対象 地域スポーツクラブ指導者、学校部活動指導者、社会体育施設指導者等
 定員 各50名程度
 参加料 無料

申込方法 別紙申込書に必要事項を入力しお申込ください。後日、zoomIDをお送りします。 申込書はこちらから
 申込書は(公財)滋賀県スポーツ協会HPからダウンロードできます。
 ◆①氏名 ②所属名 ③競技名 ④緊急連絡先 ⑤参加希望日
 ※②・③について、特になければ、記入の必要はありません。
 ◆申込受付期間 ～ 実施日当日まで



申込先 公益財団法人滋賀県スポーツ協会 TEL 077-511-9955 FAX 077-521-8484
 問合せ先 生涯スポーツ担当 E-mail kouiki@bsn.or.jp

その他
 ・オンライン接続(zoomID)については、申込者へ後日通知いたします。
 ・オンライン講習に伴うzoom、Wi-Fi経費については個人負担になります。
 ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更新研修ではありません。

	実施日	講師	内容	実施形態
9	令和5年9月27日(水) 10:00～12:00	佐保 豊 氏 (スポーツセーフティジャパン)	NATA-BOC全米公認アスレティックトレーナー(ATC) B.LEAGUE安全アドバイザー(2022-23特別表彰) WBC東京ラウンド メディカル/セーフティコーディネーター	オンライン 開催
			【熱中症メカニズムとトリプルH】死のリスクを伴う3つの疾患を、心臓疾患のハート(H)、脳のヘッド(H)、そして熱中症のヒート(H)の頭文字から“トリプルH”と呼びます。どんなに予防策を講じても、100%防ぐことは難しい。だからこそ、最悪の事態を避ける知識の習得や、体制作りを講じる必要があります。また、“トリプルH”のひとつ、熱中症のリスクが最も高まる時期です。そのための準備は何かについて学びます。	
10	令和5年10月3日(火) 19:15～21:15	藤 一道 氏	NPO法人まちづくりネット東近江	オンライン 開催
			【WEBを使った効果的な情報発信】 WEBにおける情報発信ツールの紹介とその特徴について教えていただきます。 セミナー受講後には、ホームページやチラシが自分で作れるようになります。 また、SNSの活用事例についても紹介していただきます。	
11	令和5年10月5日(木) 10:00～12:00	八田 倫子 氏 (スポーツセーフティジャパン)	米国BOC公認アスレティックトレーナー(ATC) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT) 米国NASM公認パフォーマンスエンハンスメントスペシャリスト(PES) 帝京平成大学人文社会学部経営学科トレーナー・スポーツ経営コース非常勤講師 日本スポーツ協会アスレティックトレーナー教育制度検討委員会委員	オンライン 開催
			【危機管理体制、スポーツ現場でのEAP】 EAP(Emergency Action Plan)とは、緊急時対応計画を意味しています。スポーツにケガはつきものです。施設やスポーツ団体は、緊急時にいかに対応できるか体制を整えておく必要があります。事故が発生した際に、適切かつ迅速な対応が求められます。EAPおよび緊急時に備えるためのマニュアル作成(登録認証制度申請の参考)について学びます。	
12	令和5年10月17日(火) 19:15～21:15	渡邊 優子 (NPO 法人希楽々)	NPO 法人希楽々 理事長 総合型地域スポーツクラブ全国協議会幹事長 スポーツ庁地域スポーツクラブ活動アドバイザー 1級建築士 生涯学習コーディネーター (公財)日本スポーツ協会公認クラブマネージャー (公財)日本パラスポーツ協会公認初級パラスポーツ指導員	オンライン 開催
			【組織の公益性と経営体】 総合型クラブとして、社会的な信用性と同時に自走するための経営体でなければならない。そのためには組織は常に、人材育成と新陳代謝が必要であると考えます。 今注目のある「部活動改革」も「想い」と「公益性」と「経営体」で実現化することができました。 設立 20 年の取組から得たものについてお話していただきます。	

★内容は変わることがあります。参加回数に制限はありません。